

教育目標 ○深く考えて行動する子(めあてをもち、自ら学ぶ子) ○思いやりのある子(心優しく、助け合う子) ○健康で明るい子(命の大切さがわかる、たくましい子)

めざす学校像 ○子供の学ぶ意欲と喜びのあふれる学校 ○いじめのない、子供が安心して通える学校 ○子供と地域社会を結ぶ学校

めざす教師像 ○学びと体力向上の喜びを与える教師 ○現状把握を的確に行い子供の心に寄り添う教師 ○はじめある指導を適切に行う教師 ○誠意をもって外部対応できる教師

努力指標は4段階でご記入ください。

努力指標・成果指標の数値は4段階評価です。

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標(中間)	努力指標(最終)	成果指標(中間)	成果指標(最終)	分析コメント	改善策
知	確かな学力の育成	基礎基本の定着	習熟度指導・個別指導の充実、ICT機器の積極的活用、学習習熟度を高めるための家庭学習の計画的な提示	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 小学一年生として、どの程度の学習課題や学習内容、家庭学習を求めののかについて調べながら学習を進めてきた現状がある。児童理解が進み、大まかな進度内容がわかるようになってきたところである。 ICTを日常的に活用することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習は習慣づけることが重要であり、毎日少しずつでも家庭で学習する習慣をつけるよう、計画的に課題を出す。
		読解力の向上に基づく言語能力の育成	計画的な読書活動、教員による読み聞かせや一人読書と本紹介、言語能力育成を視点にした日常的な授業改善	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 毎週の時間割に計画的に図書時間を配当し、司書とともに読書活用、読み聞かせを行っている。また、国分寺学との連携で、でんでんたいこ等外部の団体、また、保護者のよみきかせを計画している。 9割の児童が本に親しんでおり、日常的な読書活動、また、音読活動を通じて、文字環境への親和性を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の読み聞かせや読書旬間の取組など、読書の幅を広げ、本に更に親しむことのできる学年を目指す。
		体験的な学習の充実	コミュニティ・スクールとして、地域の人材やボランティア、教材を活用した学習(毎学期)、体験的学習を取り入れた授業実践	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 8割を超える児童が体験的な学習を「勉強になっている」と答えており、地域のリソースを活用した授業が効果的であることを表している。 	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーターとの連携を通じて、効果的な地域とのかかわりをさらに進めていく。九ちゃん農園に通うことを通じて、四季の移ろいや農業都市国分寺に親しみ、愛着をもてるようにする。
徳	豊かな人間性の確立	はじめある学校生活	計画的な授業の実施、学習規律の確立、あいさつの励行、「九小の約束」の徹底	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 9割の児童が「あいさつができています」と自己分析している。朝の教員のあいさつに合わせて楽しくあいさつを交わすことができおり、あいさつの楽しさ、重要性が認識されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの児童がチャイム着席や廊下や階段を静かに歩くことができていると、自己分析しているが、必要な場所できていないため、教室移動や廊下・階段での合言葉を確認し、自己肯定感を高めたまま、教員の認識と合わせるようにする。
		思いやりと感謝の心の育成	児童理解のための教員研修、考え、議論する道徳授業の充実、縦割り班活動、「九小タイム」の充実	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 8割を超える児童が「九小タイム」が好きだと答えたり、休み時間には他学年の児童とともに遊んだりすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他学年の児童との関わりを楽しみ、九小タイムなどの他学年との交流活動を高めていく指導を行う。 いろいろな先生方に学年を見ていただき、コメントをいただき、校内委員会を活用するなどして、児童理解を深めていく。
		音楽・芸術活動の充実	音楽集会の実施、学級における音楽活動、図工作品の展示、日本の伝統文化を活かした活動	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 1組の図工は講師の先生に教科の指導をいただいております、その指導をもとに、2・3組の担任が学習を進めている。お互いの指導力を高め、学級における音楽、図工活動を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各月の音楽集会に向けて練習を行いながら、興味や期待をもって、音楽集会の活動を行うことができるようにする。
体	健康でたくましい心身の育成	食の教育の充実	体験的な食育の実践、栄養士・調理員との交流、「もぐもぐタイム」	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 栄養士や調理員との協業で「そらまめのさやむき」を行った。図書との連携も図り、司書による読み聞かせも行って、複合的な学習を進めることができた。また、そらまめは、「コクベジ」であり、国分寺の地場野菜にもふれることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 7月には給食室探検を予定するなど、さらに、栄養士や調理員との連携をはかる。
		体力増進に向けた活動の充実	運動量の確保を目指す体育学習、大縄跳び、学級での休み時間の取組、外遊びの推進	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 体育だけでなく、休み時間の使い方を知らせ、外で遊ぶ良さや楽しさを伝えることができ、多くの児童が外で遊ぶことができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 年後半で予定されている大縄などの体育的な行事を楽しみにできるよう、事前の学習や声かけをしていく。
		児童の危機意識の向上	地域との連携を図る避難訓練、登下校訓練、定期の安全指導・朝会・安全点検、危機回避能力の育成	3		3		<ul style="list-style-type: none"> 登下校時や放課後の交通ルールを守ることの重要性を朝の会、帰りの会で繰り返し指導していく。 安全点検を効果的に実施していく。 避難訓練は毎回、緊張感をもち、危機回避能力を高めることができた。 引き渡し訓練を通じて、保護者とともに登下校時の安全について確認してもらうなど、地域との連携を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全について継続して伝えていく。 地域の一員として、登校時も安全にルールを守って歩行できるよう指導していく。 避難訓練、不審者対応の訓練なども緊張感をもって取り組めるよう指導していく。